

1997 April, May



福岡市
総合図書館
映像ホール

シネラ NEWS

4/5

特集

*イラン映画特集

特別企画

*韓国シネマフェスティバル

4月2日(水) ~ 4月6日(日)

4月23日(水) ~ 4月25日(金)

5月1日(木) ~ 5月25日(日)



永遠なる帝国



ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ

No. 10

特 集 イラン映画特集

80年代後半から90年代にかけて世界から注目されるようになったイラン映画。つぎつぎに新しい才能が登場し、今黄金時代を迎えるイラン映画の秀作を特集。

会 期：4月2日(水)～6日(日)
4月23日(水)～25日(金)

協 力：'96・イラン映画祭実行委員会

観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。
※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

4月3日(木)19:00/4月4日(金)16:30

駆ける少年

1986年/カラー 35ミリ/94分
監督：アミール・ナデリ

身よりのない少年が厳しい社会のなかでたくましく生きていく姿を描いた作品。85年ナント三大陸映画祭グランプリ。



4月4日(金)14:00/4月6日(日)13:30

ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ

1992年/白黒+カラー 35ミリ/98分
監督：モフセン・マフマルバフ

イラン映画の発祥に始まり、イラン映画史における重要な作品の断片をふんだんに取り入れスラップスティックコメディに仕立てた作品。



4月5日(土)16:00/4月6日(日)16:00

ハムーン/愛の破局

1990年/カラー 35ミリ/130分
監督：ダリウシュ・メルジュイ

作家のハムーンは妻を愛しているが、妻は離婚を求めて訴訟を起こしていた。映画は現実と幻想、過去と現在を織り交ぜハムーンの24時間を描いていく。



4月23日(水)14:00/4月24日(木)19:00

ナルゲス

1992年/カラー ビデオ/100分
監督：ラクシャン・バエニテマッド

青年アデルは若い娘ナルゲスとの出会いから、泥棒家業を止めようとする。イラン映画には珍しく悪女が登場する。監督の名を国際的に知らしめた作品。



4月2日(水)14:00/4月3日(木)16:30

行商人

1987年/カラー 35ミリ/95分
監督：モフセン・マフマルバフ

「サイクリスト」のマフマルバフ監督作品。イラン社会が抱える貧困層の問題を、オムニバス形式の3つの物語と強烈な映像で語る異色作。



4月2日(水) 16:30

カルヘからラインへ

1992年/カラー 35ミリ/90分
監督：エブラヒム・ハタミキア

イラク軍の毒ガスのため失明した兵士が眼を手術するため、姉の住むドイツにやって来る。負傷兵の苦しみを訴える、イラン映画には珍しい海外ロケ作品。



4月2日(水) 19:00

トラベラーズ

1992年/カラー 35ミリ/90分
監督：ダリウシュ・メルジュイ

婚礼の準備が親族の自動車事故により一挙に葬式へと変容するドラマチックな作品。素晴らしい撮影と美術が振群の効果を上げている。



4月3日(木) 14:00

バシュ/小さな異邦人

1988年/カラー ビデオ/120分
監督：ババラム・ベイザイ

空襲で家も家族もなくした少年バシュは、言葉も通じない見知らぬ村の主婦ナイに育てられる。強烈な映像美で描くベイザイ監督の代表作。



4月4日(金)19:00/4月5日(土)11:00

鍵

1987年/カラー 35ミリ/76分
監督：エブラヒム・フセルジュ

留守番と赤ん坊の世話を頼まれた4才の少年の大奮戦を描いた作品。脚本と編集をアッバス・キアロスタミが担当している。



4月5日(土)13:30/4月6日(日)11:00

パーティー

1996年/カラー 35ミリ/100分
監督：マスード・キミヤイー

イスラム革命以前に大学を卒業した7人の若者たちは、7年後思い出のカフェに集まろうと約束する。そして7年後、仲間の一人は姿をあらわさなかった。



4月5日(土)16:00/4月6日(日)16:00

ハムーン/愛の破局

1990年/カラー 35ミリ/130分
監督：ダリウシュ・メルジュイ

作家のハムーンは妻を愛しているが、妻は離婚を求めて訴訟を起こしていた。映画は現実と幻想、過去と現在を織り交ぜハムーンの24時間を描いていく。



4月23日(水)14:00/4月24日(木)19:00

ナルゲス

1992年/カラー ビデオ/100分
監督：ラクシャン・バエニテマッド

青年アデルは若い娘ナルゲスとの出会いから、泥棒家業を止めようとする。イラン映画には珍しく悪女が登場する。監督の名を国際的に知らしめた作品。



4月23日(水)19:00/4月25日(金)14:00

凍った道

1986年/カラー ビデオ/90分
監督：マスード・ジャファリ・ジョザニ

足の悪い教師のモサビはある日病気の父親を持つ生徒に付き添って町まで薬を買いに行く。しかし町に行くためには吹雪に耐えながら山を越えねばならない。



4月24日(木)14:00/4月25日(金)19:00

レイハネ

1990年/カラー ビデオ/85分
監督：アリレザー・レイシアン

離婚のため田舎に帰ってきたレイハネだが、彼女を迎える眼は冷たかった。主演のファタメ・モタダリアはイランのトップスターである。



特別企画 韓国シネマフェスティバル

韓国映画の全貌を紹介してきた韓国映画祭。昨年の第1期と第2期に引き続き今回は第3期の70年代からと第4期の90年代の名作群を「韓国シネマフェスティバル」と銘打って一挙公開していきます。

会 期：5月1日(木)～25日(日)

観覧料：1,000円(当日一般) 800円(前売り一般)
3,500円(5回券) 6,000円(10回券)

※定員各回入替制。前売り券は市内有名プレイガイドにて発売。
5回券、10回券はチケットぴあ、ローソンチケットのみ発売。

主 催：韓国映画祭実行委員会 福岡市総合図書館
KBC九州朝日放送 朝日新聞社

後 援：駐日大韓民国大使館・韓国文化院 福岡市
駐福岡大韓民国総領事館
在日本大韓民国民団中央本部

特別協力：国際交流基金アジアセンター (財)現代演劇協会
助 成：国際交流基金

5月1日(木)14:00/5月3日(土)15:30

黄 昏

1978年/カラー 117分
監督：崔夏園 (チェ・ハウォン)
出演：文美峰 (ムン・ミボン)

長男を医者にするために苦勞を重ねた母親が、長男の住むソウルに移り住むが…。人間の幸福とは何かを問ひかける作品。



5月1日(木)16:30/5月3日(土)10:30

ハンネの昇天

1977年/カラー 109分
監督：河吉鍾 (ハ・ギルジョン)
出演：河明中 (ハ・ミョンジュン)

ミステリアスな語り口の一般の娯楽作だが、土俗的な輪廻転生譚を通じて、「袋小路」にある時代状況を観念的に表現している。



5月1日(木) 19:00

野菊は咲いた

1974年/カラー 110分
監督：李晩熙 (イ・マニ)
出演：申星一 (シン・ソンイル)

朝鮮戦争の悲劇を、少年の目-彼が見たこと、感じたことを通して、情感溢れるヒューマニズムで感動的に描く。



5月2日(金)14:00/5月5日(月)13:00

馬鹿たちの行進

1975年/カラー 102分
監督：河吉鍾 (ハ・ギルジョン)
出演：尹文燮 (ユン・ムンソプ)

70年代の閉塞した時代背景を滑稽な若者たちと通じて逆説的に表現した記念碑的名作。いわゆる「馬鹿」シリーズの第1作となる。



5月2日(金)16:30/5月4日(日)15:30

族 譜

1978年/カラー 100分
監督：林權澤 (イム・グォンテク)
出演：朱善泰 (ジュ・ソンテ)

日本統治時代の末期に行われた「創氏改名」(韓国名を日本名に変える)の悲劇を日本人青年の視点から描いた名作。



5月2日(金)19:00/5月4日(日)13:00

森浦への道

1975年/カラー 99分
監督：李晩熙 (イ・マニ)
出演：金振奎 (キム・ジンギョ)

偶然出逢った三人の「事情持ち」の男女が厳冬の雪原を旅するロードムービー。現代人の孤独な魂を描く名匠・李晩熙の遺作。



5月3日(土) 13:00

永遠なる帝国

1995年/カラー 124分
監督：朴鍾元 (パク・ジョンウォン)
出演：安聖基 (アン・ソンギ)

18世紀李朝時代の壮絶な権力闘争。皇帝と改革派・保守派の三つ巴の争いを緻密な映像で描き切り、国内の賞を独占した。



5月4日(日) 10:30

避 幕

1980年/カラー 93分
監督：李斗鎭 (イ・ドゥヨン)
出演：俞仁知 (ユ・ジン)

巫女(ムードン)物を代表する痛快幽霊譚。ヴェネチア映画祭で受賞し、韓国映画が国際的に注目される契機となった傑作。



5月5日(月・祝) 10:30

白い微笑

1980年/カラー 120分
監督: 金洙容 (キム・スヨン)
出演: 琴羅羅 (クム・ボラ)

多作家の金洙容の器用な才人という側面がうかがえる学園青春ドラマ。新任の女教師と落ちこぼれの生徒たちの心の交流を描く。



5月5日(月・祝) 15:30/5月8日(木) 19:00

小さなボール

1981年/カラー 102分
監督: 李元世 (イ・ウォンセ)
出演: 安聖基 (アン・ソンギ)

河吉鍾らと映画同人グループ「映像時代」を結成した李元世の代表作。経済発展の裡に切り捨てられる貧しい人々を詩情豊かに描く感動作。



5月7日(水) 14:00/5月11日(日) 13:00

長雨

1979年/カラー 124分
監督: 俞賢穆 (ユ・ヒョンモク)
出演: 黄貞順 (ファン・ジョンソン)

朝鮮戦争の民族分断の悲劇を、一つの家に同居する二人の祖母の対立に集約して描き切り、異彩を放つ感動の力作。



5月7日(水) 16:30/5月11日(日) 15:30

ピョンテとヨンジャ

1979年/カラー 110分
監督: 河吉鍾 (ハ・ギルジョン)
出演: 李怜玉 (イ・ヨンオク)

「馬鹿たちの行進」の続編。前作でピョンテが入隊し一時中断したヨンジャとの恋の行方をコミカルに描く。河吉鍾の遺作。



5月7日(水) 19:00/5月9日(金) 14:00

カッコーは夜中に鳴く

1980年/カラー 120分
監督: 鄭鎮宇 (チョン・ジン)
出演: 丁允姫 (チョン・ユンヒ)

日本統治時代、慎ましい炭焼きの夫婦が若妻に横恋慕した小役人によって引き裂かれてしまう。丁允姫が美しい純愛映画の傑作。



5月8日(木) 14:00/5月10日(土) 13:00

銀馬將軍は来なかった

1991年/カラー 123分
監督: 張吉秀 (チャン・ギルス)
出演: 李憲淑 (イ・ヘスク)

俊英・張吉秀のモントリオール映画祭主演女優賞・脚本賞受賞作。朝鮮戦争が女達にもたらした悲劇を小さな村を舞台に描いた秀作。

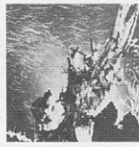


5月8日(木) 16:30/5月10日(土) 15:30

開闢

1991年/カラー 146分
監督: 林權澤 (イム・グォンテク)
出演: 李徳華 (イ・ドクファ)

李氏朝鮮時代末期の「東学党の乱」を描く歴史大作。東学思想をアジアの民主主義の先駆けと位置づけて描かれる壮大な叙事詩。

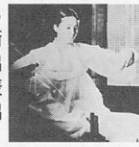


5月9日(金) 16:30/5月11日(日) 10:30

糸車よ糸車よ

1983年/カラー 100分
監督: 李斗鏞 (イ・ドゥヨン)
出演: 元美京 (ウォン・ミギョン)

儒教社会の犠牲となる女性の悲劇を凝視した衝撃作。国際舞台に躍り出た当時の韓国映画を代表するカンヌ映画祭正式出品作品。



5月9日(金) 19:00

招かれた人々

1981年/カラー 110分
監督: 崔夏園 (チェ・ハウォン)
出演: 李瑩河 (イ・ヨンハ)

韓国のキリスト教伝道150周年を記念して製作された大作。李朝時代の「天主教」大弾圧と凄惨な殉教を描く雄渾の叙事詩。



5月10日(土) 10:30

従軍手帳

1981年/カラー 90分
監督: 崔夏園 (チェ・ハウォン)
出演: 張美姫 (チャン・ミヒ)

雪山での遭難で仲間を見殺しにしてしまった学生が、朝鮮戦争で自らを犠牲にした少尉の手記を読み、入隊を決意する。



5月14日(水) 14:00/5月17日(土) 13:00

將軍の息子3

1992年/カラー 112分
監督: 林權澤 (イム・グォンテク)
出演: 朴尚民 (パク・サンミン)

久々に古巣の娯楽活劇に回帰したシリーズ物。日本統治下、独立運動の英雄の息子が無頼漢として憲兵や日本やくざと渡り合う。



5月14日(水) 16:30/5月17日(土) 15:30

風の丘を越えて一西便制一

1993年/カラー 112分
監督: 林權澤 (イム・グォンテク)
出演: 吳貞孩 (オ・ジョンヘ)

韓国全土で大ヒットを記録した、伝説芸能「パンソリ」芸人の父娘の物語。キャリアの集大成として抜群の完成度を示す傑作。



5月14日(水) 19:00

霧の柱

1986年/カラー 115分
監督: 朴哲洙 (パク・チュルス)
出演: 李瑩河 (イ・ヨンハ)

最新作「301, 302」、「学生府君神位」で「化けた」朴哲洙の前期の代表作。女性の社会進出を阻む物に対する真摯な異議申し立て。



5月15日(木) 14:00/5月18日(日) 13:00

我らの歪んだ英雄

1992年/カラー 119分
監督: 朴鐘元 (パク・ジョンウォン)
出演: チェ・ミンシク

ソウルから田舎の小学校に転校した優等生の少年はクラスを支配するソクテに服従させらるが…。90年代を代表する傑作。



5月15日(木) 16:30/5月16日(金) 19:00

チルスとマンズ

1988年/カラー 108分
監督: 朴光洙 (パク・グァンス)
出演: 安聖基 (アン・ソンギ)

中年男と若者の友情を小気味よいテンポで社会批判を織りまぜて描く、90年代注目の若手監督朴光洙のデビュー作。ロカルノ映画祭青年批評家賞受賞。



5月15日(木) 19:00/5月16日(金) 14:00

成功時代

1988年/カラー 110分
監督: 張善宇 (チャン・ソヌ)
出演: 安聖基 (アン・ソンギ)

現在最も作家主義的な活躍を見せている張善宇の出世作。高度成長下の韓国ビジネス界で苦闘する企業戦士の栄光と挫折を描く。



5月16日(金) 16:30/5月18日(日) 15:30

ミスター・マンマ

1992年/カラー 102分
監督: 康祐碩 (カン・ウソク)
出演: チェ・ミンス

「男の子育て」という設定を、儒教精神がまだまだ色濃い韓国社会に置き換えた着眼点が光るラブ・コメディの大ヒット作。



5月17日(土) 10:30

ソウルの虹

1989年/カラー 128分
監督: 金鎬善 (キム・ホソン)
出演: 姜利那 (カン・リナ)

人気女優が政界の大立者に軟禁され…。現実のスクリーンに取材した大ヒット作。民主化の象徴として国内の賞を総なめしている。



5月18日(日) 10:30

九老アリラン

1989年/カラー 107分
監督: 朴鐘元 (パク・ジョンウォン)
出演: 玉素利 (オク・ソリ)

民主化によってようやく許された労働問題という題材を端々しく描くデビュー作。モスクワ、ベルリンの映画祭に出品された。



5月21日(水) 14:00/5月24日(土) 10:30

若い男

1993年/カラー 116分
監督: 裴昶浩 (ペ・チャンホ)
出演: イ・チョンジェ

アメリカナイズされた現代風俗を徹底して取り込みながら、虚飾の中で這い上がろうともく売れないモデルの若者を描く。



5月21日(水) 16:30/5月25日(日) 10:30

二人の女の物語

1994年/カラー 103分
監督: 李廷国 (イ・ジョングク)
出演: 金曙羅 (キム・ソラ)

子どもができないため、二人目の妻を迎え入れた家。二人の妻が惨めな環境を力強く生きた半生を見つめる韓国現代女性史。



5月21日(水) 19:00

あなたが女というだけで

1990年/カラー 105分
監督: 金裕珍 (キム・ユジン)
出演: 元美京 (ウォン・ミギョン)

レイプされた主婦が、逆に傷害罪で告訴される。事件とその裁判を通して男性中心の社会のあり方を告発する社会派の問題作。



5月22日(木) 14:00/5月24日(土) 15:30

セサン・パクロ 外の世界へ

1994年/カラー 100分
監督: 呂均東 (ヨ・ギュンドン)
出演: ムン・ソングン

脱獄囚二人組と彼らに誘拐された娘の愉快で切ないロード・ムービー。俳優・呂均東の初監督作でベルリン映画祭に出品され好評を博した。



5月22日(木) 16:30/5月24日(土) 13:00

トゥー・カップス

1994年/カラー 110分
監督: 康祐碩 (カン・ウソク)
出演: 安聖基 (アン・ソンギ)

記録的大ヒットをとばしたボリス・コメディの傑作。金にうるさいダーティな刑事を演じる安聖基が抜群の演技を見せる。



5月22日(木) 19:00

粉々に砕け散った名前よ

1991年/カラー 108分
監督: 鄭智泳 (チョン・ジヨン)
出演: キム・グムヨン

東京映画祭グランプリを獲得した「ホワイト・バジ」の前作にあたる鄭智泳の力作。修行僧が性愛という煩悩と葛藤する姿を描く。



5月23日(金) 14:00/5月25日(日) 13:00

クミホ

1994年/カラー 107分
監督: 朴憲洙 (パク・ホンス)
出演: コ・ソヨン

「九尾の狐」伝説を蘇らせた韓国初のSF X映画。初監督の朴憲洙を初め、トップアイドルを主演に起用した新世代映画として大ヒット。



5月23日(金) 16:30/5月25日(日) 15:30

ナムムの家

1995年/カラー 98分
監督: 辺永姪 (ビョン・ヨンジュ)
出演: キム・スンドク

韓国の女性監督による「従軍慰安婦問題」のドキュメンタリー。「ナムムの家」では元従軍慰安婦の老女6人が共同生活している。



5月23日(金) 19:00

キムの戦争

1992年/カラー 117分
監督: 金永彬 (キム・ヨンビン)
出演: 柳仁村 (ユ・インチョン)

68年の<金嬌老事件>を真正面から描く異色作。出演者たち日本語のセリフに挑戦し、日本の在日差別問題をあぶりだす。



映像ホール・シネラスケジュール

月	日	曜日	内	容
4	1	火	休館日	
	2	水	14:00 行商人	16:30 カルヘからラインへ 19:00 トラペラーズ
	3	木	14:00 バンシュー／小さな異邦人	16:30 行商人 19:00 駆ける少年
	4	金	14:00 ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ	16:30 駆ける少年 19:00 鍵
	5	土	11:00 鍵	13:30 パーティー 16:00 ハムーン／愛の破局
	6	日	11:00 パーティー	13:30 ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ 16:00 ハムーン／愛の破局
7日(月)～21日(月) 特別休館日				
22	火		上映はありません	
23	水	イラン映画特集	14:00 ナルゲス	19:00 凍った道
24	木		14:00 レイハネ	19:00 ナルゲス
25	金		14:00 凍った道	19:00 レイハネ
26	土		「祝！美空ひばり生誕60年」上映会	
27	日			
28	月		休館日	
29	火	祝	上映はありません	
30	水		月末休館日	

映像ホール愛称「シネラ」に決定

映像ホールの愛称が決まりました。

先日募集していました映像ホールの愛称が応募総数192点より「シネラ」(Ciné-là)に決定いたしました。名付け親は、中央区の馬場美穂子さんです。これはシネマ(映画)とライブラリー(図書館)との合成語です。これに伴って今号よりライブラリーNEWSもシネラNEWSに代わりましたのでお知らせいたします。

特別休館

福岡市総合図書館では、図書の整理や蔵書及び機器点検のため特別整理期間として4月7日(月)～4月21日(月)は休館します。映像ホール「シネラ」も併せて休館します。

各団体の自主上映事業

4月26日(土)、27日(日)

「祝！美空ひばり生誕60年」上映会

主催：美空ひばり後援会

TEL093-293-2415 (午後8時以降)

スケジュール

4月26日 「娘十八御意見無用」「花笠若衆」「青い海原」

4月27日 「ひばりの花形探偵合戦」「おしどり駕籠」

※内容等については直接主催にお問い合わせ下さい。

月	日	曜日	内	容
5	1	木	14:00 黄 昏	16:30 ハンネの昇天 19:00 野菊は咲いた
	2	金	14:00 馬鹿たちの行進	16:30 族 譜 19:00 サンボ 森浦への道
	3	土	10:30 ハンネの昇天	13:00 永遠なる帝国 15:30 黄 昏
	4	日	10:30 避 幕	13:00 サンボ 森浦への道 15:30 族 譜
	5	月	10:30 白い微笑	13:00 馬鹿たちの行進 15:30 小さなボール
	6	火	休館日	
	7	水	14:00 長 雨	16:30 ピョンテとヨンジャ 19:00 カッコーは夜中に鳴く
	8	木	14:00 銀馬將軍は来なかった	16:30 開 闢 19:00 小さなボール
	9	金	14:00 カッコーは夜中に鳴く	16:30 糸車よ糸車よ 19:00 招かれた人々
	10	土	10:30 従軍手帳	13:00 銀馬將軍は来なかった 15:30 開 闢
	11	日	10:30 糸車よ糸車よ	13:00 長 雨 15:30 ピョンテとヨンジャ
	12	月	休館日	
	13	火	上映はありません	
	14	水	14:00 將軍の息子3	16:30 風の丘を越えてー西便制ー 19:00 霧 の 柱
	15	木	14:00 我らの歪んだ英雄	16:30 チルスとマンズ 19:00 成功時代
	16	金	14:00 成功時代	16:30 ミスター・マンマ 19:00 チルスとマンズ
	17	土	10:30 ソウルの虹	13:00 將軍の息子3 15:30 風の丘を越えてー西便制ー
	18	日	10:30 九老アリラン	13:00 我らの歪んだ英雄 15:30 ミスター・マンマ
	19	月	休館日	
	20	火	上映はありません	
	21	水	14:00 若 い 男	16:30 二人の女の物語 19:00 あなたが女というだけで
	22	木	14:00 セサン・バクロ 外の世界へ	16:30 トゥー・カップス 19:00 粉々に砕け散った名前よ
	23	金	14:00 ク ミ ホ	16:30 ナヌムの家 19:00 キムの戦争
	24	土	10:30 若 い 男	13:00 トゥー・カップス 15:30 セサン・バクロ 外の世界へ
	25	日	10:30 二人の女の物語	13:00 ク ミ ホ 15:30 ナヌムの家

※5月26日以降のスケジュールは次号に掲載します。

映像ホール利用申し込みについて

平成9年8月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期 間

平成9年 8月27日(水)～8月30日(土)

9月24日(水)～9月28日(日)

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課 TEL(092)852-0600までお問い合わせください。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

●お問い合わせは

☎ (092) 852-0600

FAX (092) 852-0609